

# @ MyLife vol.6

男女共同参画と女性活躍のまちづくりをすすめています！

## あま市男女共同参画プラン

「いろいろな私でいいあなたでいいみんなが笑顔で生きるまち」を目標像に、「第2次あま市男女共同参画プラン」を策定しました。この計画に基づき、あま市では様々な取組を実行しています。女性も男性も性別に関わりなく、個性と能力を発揮できる多様性に富んだまちを実現しましょう！



↑職員向け男女共同参画研修

## 啓発パンフレット

子どもから大人まで、ジェンダー（社会的性差）とその関連問題などについて知識を得て、理解を深めるためのパンフレットを発行しています。「女性活躍情報誌」もそのひとつです。自己実現と家庭生活の良いバランスを見出し、地域で素敵に生きるためのヒントを発信しています。



## 啓発イベント

### ● 家事等実践講座

「男性のための料理教室」「防災クッキング」など、性別役割分担意識を解消して生活で役立てられる講座を開いています。

### ● 交流会など

講演会や映画上映会、セミナーなど、お互い顔の見えるつながりの場を提供しています。「女性活躍情報誌」に掲載された方との交流会も。



↑家事等実践講座



↑交流会での対話

高校生と大人たち、あま市で暮らす市民記者が取材しました！

今年で6回目となる女性活躍情報誌の取材をして記事を書いたのは9人の市民記者のみなさん。五条高校、美和高校に通う高校生とあま市在住の大人たちが参画してくださいました。市民の皆さんが素敵だと感じた等身大の声で作られた情報誌です。

### ↓各チームの取材の様子



↑取材前に勉強会を実施

### ↓取材後の振り返り



この情報誌へのご意見・ご感想をぜひお寄せください（上の二次元コードから）



## つながりを大切にした活動を

あま市をより良いまちにしたいと様々な活動に取り組んでいます。月に2回開いている「放課後子ども教室」は、子どもの自由な時間を大切に、学校とは異なる学びが楽しくできる場所です。事業者としてあま市商工会の「ミドルエイジ委員会」でも活動しています。ここでは、子どもも大人もつながれるイベントの企画などに関わってきました。この他、「Tree Ring+」という団体をつくり、大学生と使い捨てカイロの回収・再利用に取り組むなど、私自身も今までにはないつながりができました。

## 思い描いた活動をひとつずつ実現

放課後子ども教室の研究委員会をつくってもらうため、議員さんに直に提案したり、制度の勉強をしたり、保護者アンケートを取ったりしました。意見が通らず悩んだ日もあり、決して楽な活動だったとはいえません。でも、達成感は大きく、嬉しいこともたくさんあります。放課後子ども教室では、商工会の仲間たちから子どもへ、いろいろな業種の仕事の話をしてもらえました。今後、一緒に活動してくれる仲間を増やし、地域を盛り上げ、あま市に貢献したいです！

## 子どもたちが将来も愛せるまちに

自分の子どもが小学校に入学した頃、「いろいろな経験ができて、みんなが喜ぶ場所がもっとあったらいいのに」と考えました。この思いが私の原点であり、まちに関わり続ける理由です。周りが楽しそうな姿に私も嬉しくなります。良い思い出は地域への親しみを生むもの。若い人たちが「将来はあま市に住みたい」と思えるまちにしたいと思っています。

【プロフィール】市民活動団体「Tree Ring+」を立ち上げ、いくつもの地域活動に携わっている。経営者として住宅リフォーム業も営み、あま市商工会でも活躍。

撮影場所／あま市商工会

市民記者／美和高校 有馬結良、鎌田麻央、濱田紅花

宮崎さんの元気のワンポイント

今を大切に生きよう！！

あま市のために挑戦し続ける

みやざき たまさ  
宮崎環さん

### 市民記者のヒトコト

宮崎さんはとても元気で、地域に貢献する姿が格好いいなと思いました。



# 相手と自分を大切に、命を守る

まつうら しおり

## 松浦 菜さん

### 家族の応援を受けて消防士に合格！

幼い頃、あるお店で白バイ隊員の広告を見て警察官に憧れを抱きました。ずっと白バイ隊員を目指していましたが、コロナ禍で思うように試験を受けることが出来なくて…。進路を考える中で、消防士を目指す兄の影響で地域の消防団に入り、私も消防士になろうと考えました。家族からの応援も受けて、無事に消防士に合格。ひとりの消防士として、救助活動などに当たっています。実際に働く中、人命と隣り合わせの仕事のすごさを一層強く感じました。

### 女性としてできることを

消防署において、女性だからできない業務はありません。私は「女性としてできることを一生懸命やろう」と心掛けています。例えば、身体に触られる処置に抵抗のある女性には、同性が対応することで安心感を高められます。その他、血圧測定時の声かけでは、優しく安心感のある声のトーンを活かすことができます。女性隊員として、気を配れること、対応できることはたくさんあります。

### 「人を助けたい」という思い

消防士として働く上で必要なのは「人を助けたい」という思いです。この思いと共に、人の命をつなぐため、火災現場へ出動しています。出動時に、目の前を覆う煙を見て「怖い」と感じることもありました。火の中に飛び込むのを躊躇していた時、隊長からかけられたのは「無理だったら無理だと言え」という言葉でした。自分の意志を尊重してもらっていること、自分自身を大切にすることも大事だということが分かり、信頼できる仲間に出会っていると感じられました。これからも、人の命がかかっているからこそ、相手と自分の双方をきちんと大切にしていきたいです。

【プロフィール】海部東部消防組合消防士として2年目。元々は警察官を志していたが、当時消防団として活動していたこともあり、消防士になろうと決めた。今の目標は救急士資格取得。

撮影場所/海部東部消防組合 北分署

市民記者/玉島高枝、青柳日真、セルビス、藤井美帆

市民記者のヒトコト

「自分を守ることは、人を守ることに繋がっている」という言葉に感動しました



松浦さんの元気のワンポイント

同期の仲間と励ましあってエネルギーチャージ！

### 地域へ飛び出したことがきっかけに

高齢者向けのデイサービスをお手伝いするボランティア団体「パールの会」に設立から関わって来ました。今年で31年目。代表を務めています。活動を始めると、私は「ダイヤモンドの会にしよう！」って提案したんですが、話し合いの末、パールの会になりました(笑)

1991年に家庭の都合であま市へ引っ越して来ました。新しい土地に戸惑いもありましたが、家族に打ち明けられずに悩んだことも覚えてます。それでも「このまちでやれることをやろう！」と地域活動に飛び込み、交友関係を広げました。そんな中で、デイサービスのお手伝いをきっかけに生まれたのがパールの会です。

### 助けてもらった人への感謝を忘れない

パールの会以外にも防災や観光協会などの活動に関わってきました。周りから「大変そうね」という声もかけられます。実際、家事や育児との両立が楽だったとは言いません。けれど、家族やご近所さんなど、周りの人の助けがたくさんあったんです。母の介護にも随分協力してもらいました。ですから、私も周りの人への思いやりを大切にしています。機会があれば、何か恩返しをしたいです。それから、無理をせず「私なりにできる範囲で」と意識して生活することも何足ものわらじを履きこなすコツだと思います。

### 常にチャレンジする！

最近、防災士の資格を取得しました。ずっと力を入れてきた防災ボランティアの活動で役立てたいです。パールの会も、時代に合わせてあり方を見直す必要があります。「仕事をしたい、何かを学びたい」と望む高齢者がたくさんいる。高齢者が学び、働ける場を提供する活動も模索したいです。「自分を高めたい」「今の状況をより良くしたい」という気持ちを大切に、チャレンジし続けます！

【プロフィール】「パールの会」代表。認知症だった母の介護経験を話し、高齢者向けデイサービスに関わるボランティアを行う。その他、放課後子ども教室、認知症キャラバンメイト、手話・点訳、防災などの活動にも参加。ボランティア連絡協議会の会長、あま市観光協会の役員なども務めてきた。

撮影場所/美和総合福祉センターすみれの里

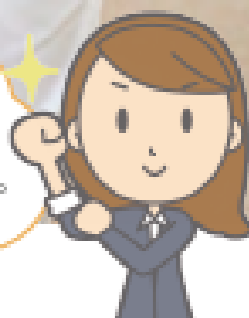
市民記者/古橋麻里紀、塚本清香、小川穂佳

# 一生自分を高め続けたい 北野 まり子さん

きたの まりこ

市民記者のヒトコト

とてもパワフルな方で、私たちも元気をもらいました。



北野さんの元気のワンポイント

できる範囲で精一杯やる！